

**一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会**  
**2018年度事業報告**  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

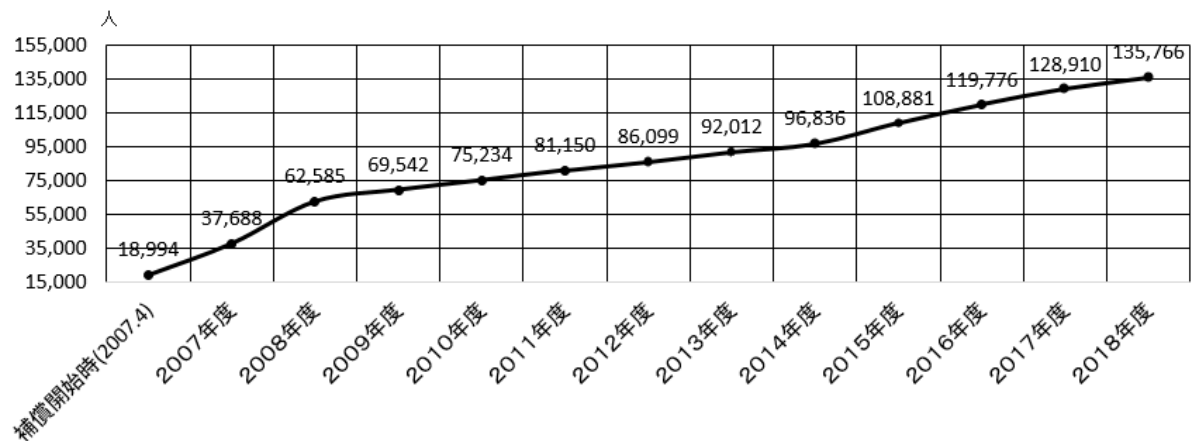
**【概 括】**

**I 組織**

2018年度会員目標を136,000人とし、会員総数は135,766人(対前年度比・約5%増)※グラフ1となり、目標には、234人未達成となった。これは、2018年度は新加盟のサポート協会がなかったことに加え、新しく募集を開始したCプラン加入目標を7,000人としていたが、結果は3,970人と目標人数の60%に満たなかったことが原因のひとつではないかと推察される。

三者プロジェクト等を通じ、Cプランの新規会員数を増やしていくための施策を協議することが必要である。

**グラフ1 会員数の推移**



**表1 ブロック別会員数の推移**

ブロック名	補償開始時(2007.4)	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
北海道ブロック		369	1,296	1,567	1,714	1,876	2,513	3,118	3,815	4,792	4,766	5,164	5,587
東北ブロック	2,821	3,938	5,419	6,609	8,252	8,947	9,563	10,131	10,568	12,062	11,985	12,591	13,444
関東甲越ブロック	16,173	20,402	32,440	33,568	34,868	36,103	37,284	38,353	39,633	43,619	43,303	45,179	46,775
中部ブロック		8,277	9,414	10,443	11,003	11,379	12,048	13,041	13,850	17,555	17,445	19,083	20,172
近畿・中国・四国ブロック			5,917	7,311	8,426	11,079	11,864	13,067	13,940	24,971	24,758	28,266	30,389
九州ブロック		4,702	8,099	10,044	10,971	11,766	12,827	14,302	15,080	17,670	17,519	18,627	19,399

## II 事業

### 1 サポート協会における事業の実施

サポート協会の事業報告及び決算書より、事業の実施数は、205事業→214事業（約4%増）、1サポート協会の事業費にかかる費用平均110万円→147万円（約34%増）となった。今まで単独の主催事業を行っていなかったサポート協会では「親亡き後」や「年金」などのセミナーを行っているのが見受けられ、出席者の満足度が高かったようである。

### 2 ブロック会議

#### (1) 協議事項

ア 6ブロックで開催し、各サポート協会が実施している事業について発表した。

イ 2017年度末から開始した三者会議について各サポート協会より報告した。

また、2017年度に配布した「生活サポート総合補償制度 病気予防&事故防止」冊子、リスクマップの利用方法についての再アンケート（最初のアンケートは2017年度の配布直後に実施）結果を全国サポート協会事務局より報告した。

ウ 2020年度改定のプラン内容案や今後も安定した補償制度を維持していくための施策案を提案し、各ブロックで協議を行った。

#### (2) その他

ア 東北ブロック会議では、2018年度アールブリュット展の募集において、当該ブロックの3作品が入賞したため、入賞者の表彰式を行った。（青森県1作品、秋田県2作品）

イ 近畿・中国・四国ブロック会議では、近畿ブロックと中国・四国ブロックの分割について、意向を確認した。中国・四国は加盟したばかりのサポート協会が多いためまだ分割しないほうがよいがゆくゆくは考えたい、ということであった。

### 3 啓発事業

#### (1) 会報誌「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行

7月1日付で発行し、45サポート協会及びジェイアイシーグループ等に146,800部を送付した。

2018年度から、紙質を向上した。

## (2) 広告掲載

### ア 集会

- ① 日本知的障害者福祉協会  
「全国知的障害関係施設長等会議」  
「全国知的障害福祉関係職員研究大会」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会  
「第5回全国大会」

### イ 冊子

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」（年間）
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」（年間）

### ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

## (3) ホームページ

2017年度末にホームページリニューアルが完了し、閉鎖していた「サポート協会及びブロックの活動」のページを再開し、各サポート協会で実施した27事業の開催案内等を掲載することができた。

また、「お知らせ」ページにおいて、国や他団体からの福祉関係の情報、アールブリュット展で応募のあった全作品を掲載した。

## 4 アールブリュット展

2016年度及び2017年度の2年間は、テーマを決めて作品を募集していたが、2018年度はテーマを決めず作品を募集した。全国から125作品の応募があり、当会ホームページの「お知らせ」に作品展として全作品を掲載した。総会での投票の結果、入賞作品は青森県1作品、秋田県2作品となった。入賞者には、当会から賞状とともにAIG及びJICより副賞が授与された。また、入賞作品は広報誌「サポ協だより」、2019年度「生活サポート総合補償制度」パンフレットに掲載した。

なお、2018年度まで当会会員の作品のみの募集であったが、2019年度より当会会員、非会員を問わず応募可能とした。

## 5 「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策

### (1) 三者プロジェクト（三者会議、拡大MVP委員会）

2017年度末にAIG、JIC及び各サポート協会の担当者との1回目の三者会議を実施し、2018年度第1回拡大MVP委員会で、その結果について意見交換を行った。2回目の三者会議は7月から9月末に実施し、各サポート協会がブロック会議にて報告を行った。

当会においては、三者会議実施後のアンケートにより、サポート協会毎の課題や意見、要望等を収集することができた。また、A I GやJ I C担当者と、各サポート協会の担当者が直接意見交換を行う機会ができたことは、A I G・J I C・全国サポート協会との三位一体体制の強化にもつながり、大きな成果があった。

(2) 生活サポート総合補償制度「病気予防&事故防止」冊子、リスクマップの追加配布（有償）

2017年度に於いて、冊子配布後にアンケートを行った結果、冊子は会員に配布するのみで、研修等を実施して利用した、という回答はほとんどなかった。冊子をより効果的に利用していただくために、2018年度総会後の研修で「病気予防&事故防止の冊子」を活用したリスクマネジメントを行った。研修は好評で、研修後各サポート協会でも会員や施設向けに研修会を行ってほしいとの要望があった。追加で有償での冊子追加を募ったところ、有償にもかかわらず、13のサポート協会から発注があった。

(3) 保険金請求要件の明確化

三者会議においても、保険金請求要件の明確化についてはさまざまな意見がよせられたが、その中でも付添介護についての意見が最も多かった。付添介護の請求要件については、2020年度改定を待たずに実施することとなり、2019年1月21日より

① 付添介護の保険金請求書の改定

② 付添介護、賠償補償の約款解説ちらしの配布開始を開始した。

6 「生活サポート総合補償制度」ポスターの作成

2009年に「生活サポート総合補償制度」の内容に特化したポスターを作成し、施設等に配布・掲示していた。作成から約10年たち、当会の一般社団法人登記やA I Gの社名変更など変更点も多くなっていたため、新しいポスターを7,000部作成し、各サポート協会（協会によっては担当J I C）に配布した。

7 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

2017年度より当会として、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の

会議等に参加した。2018年度は具体的な行動は特になく、総会での会議報告のみとなった。

次年度の実策については、28構成団体からの要望を収集して原案が作られる予定である。

## 8 小規模サポート協会支援

小規模サポート協会支援は、8月末時点で会員数が500人以下のサポート協会を対象としていたが、支援対象に該当するサポート協会がなかった。

なお、会員数500人以下としていたものを2019年度から1,000人以下に変更し、実施することとする。

## 9 事業助成（試行事業）

2018年度は2017年度の倍以上の助成申請（2017年度7申請⇒2018年度17申請）があり、MVP委員会にて申請可否及び金額について協議し、三役会で承認された。結果、すべての申請に対して助成を行った。助成総額は1,640,681円となった。

## 【事業内容】

### 1 2018年度定時社員総会

日 時：2018年5月29日（火）12：30～15：00

場 所：大田区産業プラザ（P i O）4階 コンベンションホール

議案事項：・2017年度事業報告及び決算報告・監査報告

・入会金の廃止 他

### 2 理事会

	日時	場所	内容
定款第31条に基づく	2018年4月13日 （金）	電磁的記録	2018年度予算
第1回	2018年4月27日 （金） 13:00～16:30	大田区産業プラザ 特別会議室	・2017年度事業報告・決算報告 （案） ・2018年度事業内容 等
第2回	2019年3月5日 （火） 13:00～16:30	品川区立総合区 民会館 中会議室	・2018年度事業等の評価・反省 ・2019年度事業計画・予算 ・旅費規程の変更 他

### 3 三役会

	日時	内容
第1回	2018年4月10日(火) 13:00~16:30	・2017年度事業報告、決算報告、監査報告 他
第1回 臨時	2018年6月15日(金) 13:30~16:30	・「生活サポート総合補償制度」の今後について ・ブロック会議協議事項 等
第2回 臨時	2018年8月6日(月) 13:45~16:30	・「生活サポート総合補償制度」の今後について 等
第2回	2018年9月7日(金) 13:30~17:00	・ブロック会議協議内容 等
第3回	2018年12月12日(水) 14:00~17:10	・「生活サポート総合補償制度」今後の方向性について ・ブロック会議報告 等
第4回	2019年2月6日(水) 13:30~16:00	・2020年度「生活サポート総合補償制度」改定(案) ・2018年度事業等の評価・反省 ・2019年度事業計画・予算(案) 他

※ 開催場所：第2回臨時, 第2,3回 全国サポート協会 事務所  
第1,4回, 第1回臨時 新宿NSビル 3階会議室

### 4 拡大MVP委員会(三者プロジェクト) MVP委員会

#### 第1回拡大MVP委員会(三者プロジェクト)

日時：2018年4月10日(火) 10:00~12:10

場所：新宿NSビル 3階会議室

内容：・各サポート協会三者会議のアンケート結果まとめ  
・2018年度会議スケジュール

#### 第2回拡大MVP委員会(三者プロジェクト)

日時：2018年6月15日(金) 10:00~12:00

場所：新宿NSビル 3階会議室

内容：・2017年度保険利用率結果  
・今後の三者プロジェクトについて

#### MVP委員会

日時：2018年9月7日(金) 10:00~12:00

場所：全国サポート協会 事務所

内容：・事業助成について

### 第3回拡大MVP委員会(三者プロジェクト)

日時：2019年2月6日(水) 10:00~12:00

場所：新宿NSビル 3階会議室

内容：・長期的制度安定の為の情報共有  
・今後の進め方

## 5 ブロック会議

### ・第8回北海道ブロック会議

2018年10月12日(金) 14:45~17:00

北海道(札幌市) 道民活動センター かでる2.7

### ・第12回東北ブロック会議

2018年11月1日(木) 13:30~17:00

秋田県 秋田キャッスルホテル

### ・第13回関東甲越ブロック会議

2018年11月29日(木) 13:30~17:00

栃木県 ホテルマイステイズ宇都宮

### ・第12回中部ブロック会議

2018年11月22日(水) 13:30~17:00

石川県 ホテル金沢

### ・第11回近畿・中国・四国ブロック会議

2018年11月8日(木) 13:30~17:00

和歌山県 白浜古賀の井リゾート&スパ

### ・第12回九州ブロック会議

2018年11月26日(月) 14:00~17:00

熊本県 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

## 6 研修会

日時：2018年5月29日(火) 15:15~16:30

場所：大田区産業プラザ(PiO) 4階 コンベンションホール

内容：「病気予防&事故防止の冊子」を活用したリスクマネジメント

説明 AIG損害保険(株) リスクコンサルティング部 相田課長  
(株)ジェイアイシー 高橋顧問

2018年度収支計算書 ー運営の部ー

2018年4月1日から2019年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	決算額	予算額	増減	摘要
運営費収入		27,347,600	27,133,700	213,900	
	入会金	367,800	99,000	268,800	300円×1,226人= 367,800円
	年会費	26,979,800	27,034,700	△ 54,900	200円×134,032人=26,806,400円 100円×1,734人= 173,400円
雑収入	雑収入	31	1,000	△ 969	普通預金利息
前期繰越金		19,423,219	19,423,219	0	
	合計	46,770,850	46,557,919	212,931	

支出

大科目	中科目	決算額	予算額	増減	摘要
事業費		6,336,977	8,764,000	△ 2,427,023	
	入会金返金	300	9,000	△ 8,700	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年会費返金	13,600	16,000	△ 2,400	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事業助成	1,640,681	2,000,000	△ 359,319	17サポート協会助成
	組織強化費	0	64,000	△ 64,000	
	啓発宣伝費	1,980,641	3,000,000	△ 1,019,359	広告掲載、ポスター作成費 7-ルブリュット賞状作成費等
	研修費	0	250,000	△ 250,000	
	助成金	1,000,000	1,000,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	MVP委員会	771,087	1,000,000	△ 228,913	MVP委員旅費等
	就労支援	0	150,000	△ 150,000	
	支払手数料	930,668	1,275,000	△ 344,332	振込手数料・ネットバンク利用料等
管理費		32,699,817	18,340,000	14,359,817	
	人件費	4,810,950	4,875,000	△ 64,050	職員2名分
	法定福利費	471,553	500,000	△ 28,447	社会保険料等
	福利厚生費	131,210	210,000	△ 78,790	購読料、健康診断等
	総会費	2,116,040	2,600,000	△ 483,960	総会(交通費、会場費)等
	会議費	2,341,484	2,000,000	341,484	理事会、三役会、委員会 (会場、交通費)等
	旅費交通費	1,542,348	1,530,000	12,348	ブロック会議、通勤手当職員2人分等
	賃借料	1,944,000	1,944,000	0	家賃、更新料
	水道光熱費	90,259	105,000	△ 14,741	水道、電気料
	通信運搬費	250,990	300,000	△ 49,010	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	146,360	148,000	△ 1,640	事務所管理費(セコム)、事務所財産保険
	リース料	250,516	251,000	△ 484	事務機器
	印刷製本費	1,015,372	1,100,000	△ 84,628	会報作成費用等
	消耗品費	773,354	859,000	△ 85,646	複合機使用料、事務用品費他
	会員管理費	467,700	497,000	△ 29,300	会員管理費、AIGT-タ送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	100,600	111,000	△ 10,400	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	41,081	100,000	△ 58,919	慶弔・慶弔旅費、贈答品等
	引当金	120,000	120,000	0	退職引当金
	定期預金	15,000,000	0	15,000,000	予備費⇒定期預金(固定資産)
	雑費	6,000	10,000	△ 4,000	法人会会費等
予備費	予備費		19,453,919	△ 19,453,919	
繰越金	次期繰越金	7,734,056		7,734,056	
	合計	46,770,850	46,557,919	212,931	



一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
**2018年度収支計算書 ー保険料の部ー**  
 2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

大科目	中科目	決算額	予算額	増減	摘要
収入	預り保険料入	2,240,871,340			下記のとおり
	保険料	2,229,674,850	2,217,220,270	12,454,580	
	返戻金	11,196,490			
支出	預り保険料出	2,240,871,340			
	保険料	2,229,674,850	2,217,220,270	12,454,580	
	返戻金	11,196,490			

※保険料の部 摘要詳細

保険料	<p><b>合計金額内訳</b> 保険料(会員数)合計2,229,674,850(135,777人分)                  2,228,402,590(135,703人分)「2018年4月から2019年1月入金までの2018年度保険料」                  +1,281,380円( 74人分)「2019年3月入金(2019年度保険料)」                  - 9,120円(5月レギュラー株協⇒JIC直接入金)</p> <p><b>参考：「2018年度保険料合計」(135,766人分)</b>                  2,228,402,590(135,703人分)「2018年4月から2019年1月入金までの2018年度保険料」                  +1,056,950( 63人分)「2018年3月入金(2018年度保険料4月加入分の一部)」                  =2,229,459,540</p>
返戻金	内訳 (サポート協会振込)

# 貸借対照表

2019年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,799,814	19,461,207	△ 11,661,393
流動資産合計	7,799,814	19,461,207	△ 11,661,393
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	31,255,097	16,253,720	15,001,377
基本財産合計	31,255,097	16,253,720	15,001,377
(2) 特定資産			
退職金積み立て	630,005	510,000	120,005
特定資産合計	630,005	510,000	120,005
(3) その他固定資産			
什器備品	421,201	1	421,200
保証金	675,000	675,000	0
その他固定資産合計	1,096,201	675,001	421,200
固定資産合計	32,981,303	17,438,721	15,542,582
資産合計	40,781,117	36,899,928	3,881,189
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受年会費	14,800	12,400	2,400
預り金	50,958	25,588	25,370
流動負債合計	65,758	37,988	27,770
2. 固定負債			
退職給付引当金	630,005	510,000	120,005
固定負債合計	630,005	510,000	120,005
負債合計	695,763	547,988	147,775
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(10,000,000)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(16,255,097)	(16,253,720)	(1,377)
(うち特定資産への充当額)	(510,000)	(450,000)	(60,000)
正味財産合計	40,085,354	36,351,940	3,733,414
負債及び正味財産合計	40,781,117	36,899,928	3,881,189

# 正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	27,347,600	28,927,500	△ 1,579,900
入会金収入	367,800	3,307,500	△ 2,939,700
年会費収入	26,979,800	25,620,000	1,359,800
雑収入	1,408	824	584
受取利息	1,408	824	584
<b>経常収益計</b>	<b>27,349,008</b>	<b>28,928,324</b>	<b>△ 1,579,316</b>
(2) 経常費用			
事業費	6,336,977	4,768,795	1,568,182
入会金返金	300	2,700	△ 2,400
年会費返金	13,600	12,700	900
事業助成	1,640,681	521,000	1,119,681
組織強化費	0	53,200	△ 53,200
啓発宣伝費	1,980,641	2,268,533	△ 287,892
助成金	1,000,000	1,000,000	0
MVP委員会	771,087	355,158	415,929
支払手数料	930,668	555,504	375,164
管理費	17,213,817	17,494,993	△ 281,176
人件費	4,810,950	4,508,600	302,350
法定福利費	471,553	403,444	68,109
福利厚生費	131,210	138,030	△ 6,820
総会費	2,116,040	3,111,422	△ 995,382
会議費	2,341,484	1,668,093	673,391
旅費交通費	1,542,348	1,483,310	59,038
賃貸料	1,944,000	2,089,800	△ 145,800
水道光熱費	90,259	92,520	△ 2,261
通信運搬費	250,990	234,206	16,784
環境管理費	146,360	113,050	33,310
リース料	250,516	250,516	0
印刷製本費	1,015,372	836,254	179,118
消耗品費	287,354	373,346	△ 85,992
会員管理費	467,700	480,090	△ 12,390
顧問・指導料	1,080,000	1,112,400	△ 32,400
租税公課	100,600	80,600	20,000
渉外費	41,081	393,312	△ 352,231
引当金	120,000	120,000	0
雑費	6,000	6,000	0
減価償却費	64,800	38,495	26,305
<b>経常費用計</b>	<b>23,615,594</b>	<b>22,302,283</b>	<b>1,313,311</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	3,733,414	6,626,041	△ 2,892,627
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>3,733,414</b>	<b>6,626,041</b>	<b>△ 2,892,627</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,733,414	6,626,041	△ 2,892,627
一般正味財産期首残高	36,351,940	29,725,899	6,626,041
一般正味財産期末残高	40,085,354	36,351,940	3,733,414
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	40,085,354	36,351,940	3,733,414

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
2019年度事業計画

**【基本方針】**

1 理念

Mission (ミッション・使命) = 知的障害児者生活サポート

Vision (ビジョン・将来像) = 全国 (組織)

Passion (パッション・熱情) = 協会 (熱い情の協働体)

2 組織では、全国サポート協会と各サポート協会間の一層の連携

3 事業では、当会定款第2条 (目的・事業) を実施・継続

4 AIG損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

**【活動内容】**

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会また必要に応じて三役会等を開催する。

(1) 定時社員総会 1回

(2) 理事会 2回

2 事業の実施

当会は、定款第2条の知的障害児者・自閉症児者 (以下「障害者」という) とその家族の生活安定と福祉の推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

① 障害者とその家族の生活安定のための各種の事業

② 障害者の各種制度に関する調査研究並びに意見具申

③ 社員の役職員の研鑽等、社員の健全な発展に資する各種の事業

④ 社員の発展に必要な援助及び指導

⑤ その他、当会の目的を達成するために必要な事業

(1) 相談支援事業の実施

ブロック活動の促進に協力

全国の6ブロックでは、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、補助金を助成する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催し、必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」にて、サポート協会の運営及び事業の参考になるような内容やブロック会議の情報を随時報告する。

## (2) 啓発事業の実施

ア 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回  
社員（団体）が行っている事業等を会員向け情報として発信する。

イ ホームページ

「サポート協会及びブロック会議の活動」にてサポート協会の事業を一般に広く公開する。また、社員には必要な情報を即時発信する。

ウ 広告掲載

(ア) 集会

① 日本知的障害者福祉協会「施設長等会議（神奈川県：7月22日～23日）」  
「全国職員研究大会（鹿児島県：10月22日～24日）」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「全国大会（熊本県：11月23日～24日）」

(イ) 冊子

① 日本知的障害者福祉協会「さぼーと」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

(ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

## (3) 組織強化の実施

ア 三者プロジェクト（「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策）

「生活サポート総合補償制度」の長期的安定の施策について三者（AIG損保・JIC・全国サポート協会）で協議を行う。

(ア) 新規会員の増員

会員（加入者）の目標は、2019年度140,000人とする。

特に若年層の新規会員（加入者）の開拓を推進し、特別支援学校卒業生、企業就労者やNPO法人等へのアプローチをすすめていく。

(イ) 保険利用率の改善

制度安定に於いては、保険利用率の改善が重要な課題である。

そのためには、病気やけがの予防、保険金請求における要件の明確化など三者で検証し、協議を行う。

イ 2020年度「生活サポート総合補償制度」改定の準備

2019年度は、2020年度「生活サポート総合補償制度」改定に伴う、会員周知を行う。そのために、まずはサポート協会事務職員へは総会研修会を行い、当会広報誌及びホームページを利用し会員へ周知する等、AIGやJICの協力も得て、計画的に改定準備を行う。

ウ サポート協会（社員）加盟の促進

全都道府県の当会加盟をめざし、未加盟の3県（岡山、広島、島根）へのサポート協会（社員）設立の働きかけを近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

- (4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な会員（加入者）の情報管理に努める。

### 3 小規模サポート協会への支援

2018年度まで会員数500人以下を対象としていたが、人数を1,000人に引き上げる。

小規模サポート協会〈会員（加入者）数1,000人以下〉へ基盤強化・拡大を図るため、支援する。

- ・支援内容 年間 会員（加入者）1人100円(200円から変更)
  - ・会員（加入者）数の基準日 毎年8月31日(現在)
- 尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円  
(1,000人を超えた年度で支援終了)

### 4 アールブリュット作品展

会員、非会員にかかわらず作品を募集し、全作品を当会ホームページに掲載する。また、入賞作品を2020年度分のパンフレット及び広報紙（サポ協だより）に掲載する。

### 5 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体として、障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業を推進していく。

### 6 MVP委員会の実施

- (1) 各サポート協会の主催事業支援助成について協議する。
- (2) 今後の当会が行う各サポート協会への助成方法について協議する。
- (3) 拡大MVP委員会においては、委員は三者プロジェクトの各ブロック代表者として、AIG損保・JICとともに「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策について協議する。

### 〈試行事業〉

#### 1 サポート協会事業実施への助成

各サポート協会が行っている主催事業に対して全国サポート協会から総額200万円の助成を行う。

ただし、2018年度に於いて、助成総額が200万円に満たなかったため、残額を付加した助成金額とする。

#### 2 就労支援事業

今後の実施について検討する。

【具体的活動計画】

年	月	日	曜	会議名	ブロック会議 全国サポート協会 出席者
2019	4	10	水	監査・第1回三役会	
		26	金	2019年度第1回理事会	
	5	31	金	総会・臨時理事会	
	6	18	火	拡大 MVP 委員会(三者プロジェクト) 兼 臨時三役会	
	7~9 中			三者会議(各サポート協会)	
	8 末~9 初			MVP 委員会(事業助成)	
				第2回三役会	
	10	4	金	北海道ブロック会議(北海道)	正副理事長 補償制度アドバイザー 事務局長
		10	木	近畿・中国・四国ブロック会議 (なら・奈良県)	
	11	7	木	九州ブロック会議(ながさき・長崎県)	
		14	木	関東甲越ブロック会議(群馬県)	
	12			第3回三役会	
2020	2		第4回三役会		
	3		2019年度第2回理事会		

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2019年度収支予算 ー運営の部ー

2019年4月1日から2020年3月31日まで

収入 (単位：円)

大 科 目	中 科 目	2018年度予算額	2019年度予算額	増 減	摘 要
運営費収入		27,133,700	27,868,200	734,500	
	入 会 金	99,000	0	△ 99,000	
	年 会 費	27,034,700	27,868,200	833,500	200円×138,682人=27,736,400 100円× 1,318人= 131,800 計27,868,200円
雑 収 入	雑 収 入	1,000	1,000	0	利息
繰 越 金	前 期 繰 越 金	19,423,219	7,734,056	△ 11,689,163	2018年度繰越金
	合 計	46,557,919	35,603,256	△ 10,954,663	

支出

大 科 目	中 科 目	2018年度予算額	2019年度予算額	増 減	摘 要
事業費		8,764,000	10,291,000	1,527,000	
	入 会 金 返 金	9,000	0	△ 9,000	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年 会 費 返 金	16,000	16,000	0	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事 業 助 成	2,000,000	2,350,000	350,000	サポート協会主催事業助成
	組 織 強 化 費	64,000	500,000	436,000	小規模サポート協会への支援金
	啓 発 宣 伝 費	3,000,000	1,000,000	△ 2,000,000	広告掲載、HP維持
	研 修 費	250,000	0	△ 250,000	研修会講師謝礼等
	助 成 金	1,000,000	1,000,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	M V P 委 員 会	1,000,000	1,000,000	0	委員会旅費等
	就 労 支 援	150,000	150,000	0	就労支援説明出張費等
	支 援 金	0	3,000,000	3,000,000	当会広報紙送付代金半額支援
	支 払 手 数 料	1,275,000	1,275,000	0	振込手数料等
管理費		18,340,000	21,178,000	2,838,000	
	人 件 費	4,875,000	4,913,000	38,000	職員2名分、事務局長社会保険手当
	法 定 福 利 費	500,000	510,000	10,000	社会保険料等
	福 利 厚 生 費	210,000	160,000	△ 50,000	購読料、健康診断等
	総 会 費	2,600,000	4,700,000	2,100,000	総会(交通費2名分、会場費)等
	会 議 費	2,000,000	2,500,000	500,000	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅 費 交 通 費	1,530,000	1,530,000	0	ブロック会議、通勤手当職員2名分等
	賃 借 料	1,944,000	2,111,000	167,000	家賃 更新料
	水 道 光 熱 費	105,000	110,000	5,000	水道、電気料
	通 信 運 搬 費	300,000	300,000	0	電話、切手、宅配便等
	環 境 管 理 費	148,000	149,000	1,000	事務所管理費(セコム)、事務所財産保険
	リ ー ス 料	251,000	251,000	0	事務機器
	印 刷 製 本 費	1,100,000	1,120,000	20,000	会報作成費用等
	消 耗 品 費	859,000	400,000	△ 459,000	複合機使用料、事務用品費等
	備 品	0	600,000	600,000	パソコン(設置・イストラーク含)、FAX購入費用⇒固定資産へ
	会 員 管 理 費	497,000	403,000	△ 94,000	会員管理費、AIGerへの送料
	顧 問 ・ 指 導 料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租 税 公 課	111,000	111,000	0	税金、法務局変更登記申請手数料
	涉 外 費	100,000	100,000	0	慶弔・贈答品等
	引 当 金	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑 費	10,000	10,000	0	法人会会費等
予備費		19,423,219	4,134,256	△ 15,288,963	
	合 計	46,557,919	35,603,256	△ 10,954,663	



一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2019年度収支予算 - 保険料の部 -

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

	大 科 目	2018年度予算額	2019年度予算額	増 減	摘 要
					2019年度会員目標 140,000 人 会員数は前年度月別比で算定し、保険料に乗算
					プランA
					4月 14,810 円 × 85,507 人 = 1,266,358,670
					5月 13,140 円 × 258 人 = 3,390,120
					6月 11,960 円 × 310 人 = 3,707,600
					7月 10,750 円 × 207 人 = 2,225,250
					8月 9,550 円 × 172 人 = 1,642,600
					9月 8,370 円 × 138 人 = 1,155,060
					10月 7,190 円 × 135 人 = 970,650
					11月 5,980 円 × 122 人 = 729,560
					12月 4,780 円 × 125 人 = 597,500
					1月 3,600 円 × 90 人 = 324,000
					2月 2,400 円 × 90 人 = 216,000
					合計 87,154 人 1,281,317,010
					プランB
					4月 19,810 円 × 46,466 人 = 920,491,460
					5月 15,320 円 × 266 人 = 4,075,120
					6月 13,930 円 × 349 人 = 4,376,460
					7月 12,540 円 × 320 人 = 3,564,800
収 入	保 険 料	2,217,220,270	2,290,843,380	73,623,110	8月 11,140 円 × 225 人 = 2,191,500
					9月 9,740 円 × 211 人 = 1,766,070
					10月 8,370 円 × 231 人 = 1,612,380
					11月 6,980 円 × 201 人 = 1,117,560
					12月 5,560 円 × 237 人 = 993,030
					1月 4,190 円 × 142 人 = 397,600
					2月 2,800 円 × 101 人 = 282,800
					合計 48,749 人 940,868,780
					プランC
					4月 19,430 円 × 2,418 人 = 46,981,740
					5月 17,510 円 × 439 人 = 7,686,890
					6月 15,940 円 × 556 人 = 7,967,480
					7月 14,330 円 × 187 人 = 2,382,380
					8月 12,740 円 × 111 人 = 1,237,650
					9月 11,150 円 × 73 人 = 698,610
					10月 9,570 円 × 93 人 = 740,280
					11月 7,960 円 × 52 人 = 331,240
					12月 6,370 円 × 60 人 = 286,800
					1月 4,780 円 × 54 人 = 172,260
					2月 3,190 円 × 54 人 = 172,260
					合計 4,097 人 68,657,590
支 出	保 険 料	2,217,220,270	2,290,843,380	73,623,110	同 上